

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、下記注意事項をよくお読みの方え、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行 必ず実行していただく「強制」を示します。

禁止 してはけない「禁止」を示します。

注意 気をつけていただきたい「注意」を示します。

施工上のご注意

注意

- 施工前に、輸送による破損がないかご確認ください。
 - 器は平らなカウンターに設置してください。破損の恐れがあります。
 - 必ず指定位置に、シリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
 - 排水金具の取付ネジは、器の破損を防止するために、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
 - 本品と組合わせて使用する水栓は必ず止水栓(流量調節のできる器具)または元栓を取付けた配管に設置してください。
 - 施工後は、本書記載の施工後の確認を必ず行ってください。
- 禁止**
- 施工の際、器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損の恐れがあります。
 - ストープやヒーター等の熱を発生するものの近くに設置しないでください。
- 注意**
- 製品の角でケガをしないようご注意ください。
 - 施工完了後、お客様が使用されるまでの間、器表面にキズや汚れが付かないよう、梱包のビニール等で保護してください。

使用上のご注意

注意

- 器に熱湯や油、シンナー等の溶剤を流さないでください。破損の恐れがあります。
 - 器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損の恐れがあります。
 - 器にひびが入る、または割れた場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。
 - 器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。
 - ドライヤー等の熱風や、火のついたタバコが当たらないようにしてください。
 - 金属たわしやクレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、漂白剤、シンナー等の溶剤、アルコール等の薬品、油は本品を傷めますので使用しないでください。
 - 金属類(ヘアピン・カミソリの刃等)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。
 - スチームクリーナーは使用しないでください。破損の原因となります。
- 禁止**
- 製品の角でケガをしないようご注意ください。
 - 汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。汚れが付着した場合はすぐに水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。
 - オーバーフローホース内に長期間水が溜まるとニオイの原因となります。定期的に水を流す等して長期間水が溜まらないようにしてください。

製品同梱明細

施工前に、下記の同梱部材がそろっているをご確認ください。

器本体・取扱施工説明書に加えて、下記の部材を同梱しています。

排水金具			
ストレーナー	取付ネジ	排水金具(上) スポンジパッキン	排水金具(下) ゴムパッキン
オーバーフローキャップ	オーバーフローホースパッキン		

施工の前に

準備するもの

- 水栓ドライバー
- * その他、施工に必要な配管部材等は別途ご準備ください。

施工方法

1. 排水金具を取付けます。

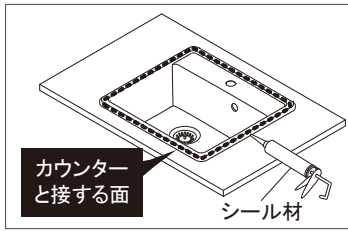
- ① 排水金具を製品同梱明細を参考に分解します。
- ② 器の上からスポンジパッキン・排水金具(上)を順に排水穴にはめ込みます。
- ③ 排水金具(下)にゴムパッキンをはめてから、器の下から排水穴に合わせます。
* ゴムパッキンは溝側を排水金具(下)に向けます。
- ④ 排水金具(下)を押さえながら、器の上から取付ネジを「水栓ドライバー」などで締めます。
- ⑤ ストレーナーを取付ネジに挿入します。

必ず実行 排水金具の取付ネジは、器の破損を防止するために、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

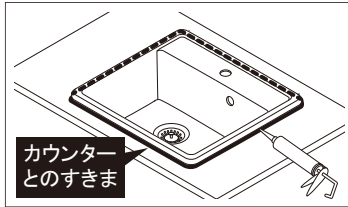
2. 器を取付けます。

- ① カウンターに指定の取付穴を開けます。
* 取付穴については器の承認図をご参照ください。

2. 器を取付けます。(つづき)



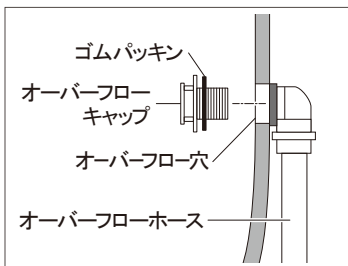
② 器の底面(カウンターと接する面)にシール材を塗布し、カウンターに設置します。



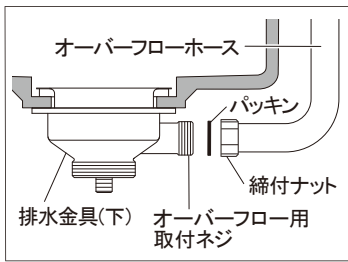
③ 器とカウンターのすきま(境界)にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

* 器の傾きや中心のズレがないように位置を確認して取付けしてください。

3. オーバーフローホースを取付けます。



① オーバーフローキャップにゴムパッキンが付いていることを確認し、オーバーフローキャップをオーバーフロー穴に通してからオーバーフローホースにねじ込んで仮固定します。



② オーバーフローホースの締付ナットにパッキンが入っていることを確認して排水金具(下)のオーバーフロー用取付ネジに締付ナットを締付けます。

③ 仮固定していたオーバーフローキャップをしっかりと締付けて固定します。



注意

オーバーフローホースを固定する際は、できる限りホースがたるまないようにして固定してください。ホースがたるんでいると、水がホース内に溜まり、ニオイの原因となります。

たるまないようにする



4. 水栓金具(別売)・排水部材(別売)を取付けます。

詳細は器具の説明書をご参照ください。



注意

施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態でその場を離れないでください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施工後の確認

① 器の取付状態の確認

ガタつきがないか確認します。

② 水栓の吐水量の確認・調節

水栓を吐水させ、適正な吐水量か確認します。

* 水ハネが激しい場合は、止水栓を調節してください。

* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を調節してください。

③ 漏水・排水の確認

通水・排水経路の各接続部に漏水がないか、排水がスムーズに行われるか確認します。

* 詳細は、各器具の説明書をご参照ください。



必ず実行

メンテナンス時等、止水栓または元栓を閉じ、再び開く場合には、水栓の吐水量の確認・調節を必ず行ってください。(施工後の確認②)

使用方法

水溜め機能の操作方法

ストレーナーを取付ネジに押込むと水が溜まります。

ストレーナーを上げると排水します。